木造観世音菩薩坐像

これは仏教の慈悲の菩薩である観音の像です。 12世紀のカツラの一木造りで、金箔で覆われていました。

多くの観音像と同様に、蓮の花の上に座り、左手にもう一つの蓮の花を持ち、祝福のジェスチャーで右手を上げます。 繊細な表情、飾り布、髪の毛の姿などは、平安時代（794–1185）の仏像の穏やかで洗練された美学の特徴です。 この像は、毛越寺の子院である白王院に納められていました。